

昭和五十七年度現代宗教研究所事業報告

1 第十五回中央教化研究会議（内容は本誌に掲載）

日 時 九月二・三日

会 場 東京池上本門寺・朗峰會館

開催趣旨 (1) 遠忌後の八十年代における教化活動の内容とプランを考えていこう。

(2) 教化の事例体験と成果をまとめるため、「教化学」の研究と教材資料の収集作成

活用についての方策を具体化していこう。

(3) 教化のための組織化と教師間の教化交流を促進する方策を検討していこう。

統一テーマ 立正安国と現代教化

部会テーマ

(1) 遠忌後の教化活動をめざして——立正

安国の精神を活現し現代社会に生きる

人々に向って私たちはどんな社会地域教

化に取組むべきなのか。（教学・社会問題

合同部会）

(2) 教化のための研究と事例の交流と教材

資料の作成をめざして——寺院護持及び

檀信徒・青少年・高齢者などへの効果的

な教化内容と方法はどうか。

(寺檀・青少年・文書視聴覚合同部会)

ざして——教師が協力しあい教化活動を

活発に行なうために私たちは何をなすべ

きなのか。（子弟教育・教化組織合同部会）

基調講演 現宗研顧問中濃教篤師

教化体験特別報告

○南無の会活動について（東京・実相寺住職酒井謙

祐師）

○私の教化活動（埼玉・正法寺住職宗川円字師）

○第二回国連軍縮特別総会に参加して（京都・大輪院住職石田良正師）

○映画「にんげんをかえせ」（子供達に世界に被爆の

記録を送る会製作）上映

討議形式 部会制による分科会・全体会議

2 地域教化研究会議

(イ) 第八回関東教区教研会議

三月三十・三十一日 於千葉県木更津市ホテル八

宝苑

テーマ「お題目の心を！ 現代人の魂をつかむ実

践的布教方法の模索」

(ロ) 第六回山静教区教研会議

四月十四日 於山梨県中巨摩郡長遠寺

基本テーマ「このままで寺院は存続できるか――

寺院の将来を考える」。

分科会議題「寺院・教師のあり方を考える」「寺院

の経営を考える」「後継者の養成を考える」

(ハ) 第六回中・四国教区教研会議

六月七・八日 於島根県松江市ホテル一畑

基本テーマ「七百遠忌教化活動の反省と今後の教化活動」。

分科会テーマ「檀信徒青年層の教化と組織の育成」

「管区における七百遠忌布教活動の実績と展望」「立

正安国論の領解と社会・人心の浄化運動の推進」

(ニ) 第四回九州教区教研会議

六月二十一・二十二日 於宮崎市宮崎観光ホテル

基本テーマ「浄仏国土建設のための日蓮宗門が七百御遠忌に結集された宗門のエネルギーはどこに向けるべきか」。

分科会テーマ「七百年の宗門造りと不可決な寺

院の後継者養成と檀信徒護持会の今後の展望」「マス

コミを活用した布教方途は如何なるものがあるか」

(ホ) 第六回北海道教区教研会議

八月二十二・二十三日 於帯広市法華寺

テーマ「遠忌後の布教体制をめざして」

(ヘ) 第八回京浜教区教研会議

十一月三十日 於東京荒川区本行寺

基本テーマ「新たななる教化の出発——現代社会における伝道宗門の原点を見直す」

分科会統一テーマ「檀信徒の求める七百一年以後の伝道教団とは」

(ト) 第七回山静教区教研会議

昭和五十八年三月四日 於静岡県加殿妙国寺

基本テーマ「在家が求めている宗教とは」

分科会テーマ「七百遠忌の反省と今後の布教について」「お題目の心を現代人に生かすには」「法器の養成を考える」「人々に愛される惚れられる僧侶」

(フ) 第十二回近畿教区教研会議 三月三十一日

3 研究調査活動

(1) 研究例会・研究員会議の開催

地域教研において、人材バンクについての意見が多くあり、現宗研として、教化活動推進のためにも、各種の人材を把握する必要があると考え、前期は主にこの問題に関して人材調査アンケートについての研究員間の意見交換を重ねた。後期、『昭和五十五年度宗勢調査報告書』発行後は、「現代宗教研究」十七

号とあわせて、その書評と、今後の教化についての

研究例会を重ね、日蓮宗教学研究発表大会・曹洞宗
教化学大会・全日仏日本仏教文化会議・全日仏教化
担当者会議（昭和五十七・三・二十六）に参加した。

(2) 教化学研究会の開催

現代社会に対応する教化を推進させるため、教化事例と体験を踏まえながら、教化の内容と方策を明らかにしていこうと、第一回教化学研究会を、六月二十八日、宗務院にて開催した。その発表は次の通りである。

開会の辞 現宗研所長中野文海

開催にあたって

—教化学研究について— 石川教張

寺院運営論—明日の寺院— 木村勝行

未信徒教化の事例とその今日的意義 井本学雄

立正平和の精神と行動

—第二回国連軍縮総会に参加して— 新聞智照

文書視聴覚教化の事例と効果 中村潤一

総括討議

各発表者から、教化における問題点と日常の課題が提示された。なお、発表内容は「現代宗教研究」第十七号に掲載した。

- (3) 檀林調査 千葉県松崎檀林予備調査
- (4) 資料センターの現宗研内設置に伴って、教化に関する資料を収集し、資料・図書を分類保管した。図書資料目録の作成をはじめ。いままでの中央教研会議参加者に対し、檀信徒教化についての事例体験の原稿を依頼し、中央教研会議の資料として編集した。
- (5) 資料センター機能の一環として、教化資料シリーズを発足させ、各種資料より「三分間法話集」「近代日蓮宗年表55・56年」「唱題行入門」の三冊を編集作成して全国寺院教会結社に提供した。
- (6) 教化資料センターの内容と方法の研究のため、各宗派教化関係研究所と交流をもち、教化の方法など情報交換・交流をもった。
- (7) 近代日蓮宗史料・布教資料として、日蓮宗布教選書のための資料収集を行なった。

(8) 昭和五十五年度実施の「宗勢調査報告書」を編集、作成した。人口動態と寺院分布状況についての調査の実施。

(9) 教化資料収集のため、各寺院七百遠忌報恩奉行関係資料収集の願いを遠忌事務局と協同して全国宗務所・寺院教会結社に依頼した（〆切九月末日）が、十六宗務所経由で五十三カ寺（二月十日現在）より資料が寄せられた。

(10) 「現代宗教研究 特集・日蓮宗の教化学研究」第十七号の発行。

(11) 顧問会・嘱託会議・研究員会議・研究例会の開催。

昭和五十七年度

現代宗教研究所活動日誌

四月十四日 第六回山静教区教化研究会議、於山梨県長遠寺。
テーマ「このままで寺院は存続できるか―寺院の将来を考